

東レ理科教育賞受賞者代表挨拶

大妻嵐山中学校・高等学校教諭 鈴木 崇 広



東レ理科教育賞受賞者を代表いたしましてご挨拶申し上げます。この度は、伝統ある東レ理科教育賞を授与していただき、大変光栄に存じます。東レ科学振興会ご関係の皆様、審査委員長の西原寛先生をはじめとする審査委員の先生方に深く感謝申し上げます。

中等教育において、魅力ある実験・観察や講義を通して理科への興味・関心を高め、生徒自らが学ぶ力や課題に立ち向かう力を育成することは、理科教員共通の願いです。

銅板の表面に亜鉛めっきを施し、さらに加熱すると黄銅めっきになります。銅板の表面が銅色から、銀色、金色へと変化する魅力的な実験教材です。従来法では、危険性が高い試薬を用いるとともに、使用後の金属粉末が発火する事故が報告されています。中等教育現場では、教員の世代交代が進んでおりますが、実験教材や指導のスキルが引き継がれないという問題があります。特に、実験における失敗や事故例などが共有されることがなく、同じような失敗が多くの学校で繰り返されていると感じておりました。だからこそ、安全で美しいめっき方法を開発し、多くの学校に広く普及させたいという思いを強くし、生徒とともに研究に取り組みました。調理用のアルミ箔をめっき反応の還元剤として使用し、さらにめっき液に陰イオン界面活性剤を添加することで均一で美しいめっきを安全に、安価に得ることができるようになりました。

本教材が国内・外の教育現場に広がり、生徒の知的好奇心や科学的思考力向上の一役を担い、将来の科学技術の発展に寄与する人材が育ってほしい、というのが私の願いです。

今回の受賞を励みに、教材開発と生徒たちの夢の実現のために一層努力していきたいと思いません。この度は本当にありがとうございました。